

令和
二年
五條市議会第四回臨時会会議録(第一号)

令和二年七月三十日(木曜日)

議事日程(第一号)

令和二年七月三十日 午前十時開議

- 第一 会議録署名議員の指名
- 第二 会期決定の件
- 第三 市長の提出議案の説明
- 第四 議第四十六号 令和二年度五條市一般会計補正予算(第四号)議定について
- 第五 選第三号 議会運営委員会委員の選任について

本日の会議に付した事件

議事日程のとおり

出席議員(十一名)

五番	三番	二番	一番
吉田	平岡	養田	伊谷
	清	全	賢
正	司	康	司

欠席議員（一名）

説明のための出席者

市長
副市長
教育長
理事
技監
市長公室長
総務部長
危機管理監
すこやか市民部長
あんしん福祉部長

太 檀 堀 南 冠 和 松 石 中 平
田 内 内 堀 則 剛 成 茂 賢 耕
紀 吉 起 行 之 明 人 人 二 一

六番 窪 岩 福 山 吉 藤 大
七番 本 塚 口 田 富 谷
八番 佳 佳 耕 雅 美 龍
九番 秀 孝 実 司 範 子 雄
十番
十一番
十二番

四番
牧
野
雅
一

事務局職員出席者

産業環境部長 井上昭
都市整備部長 上田井朗
教育部長 松井和永
西吉野支所長 大垣佳悟
大塔支所長 吉川秀司
水道局長 東純司
会計管理者 小森比美
秘書課長 西本久雄
企画政策課長 西久美
財政課長 戸野哲

事務局長 馬場雅樹
事務局次長 馬場孝一
事務局係長 坂口和美
事務局係員 窪勇美
速記者 柳ヶ瀬五美

午前十時零分開会

○議長（吉田雅範）ただいまから令和二年五條市議会第四回臨時会を開会いたします。

牧野雅一議員から欠席届が提出されております。

この際、申し上げます。

本日の会議中、報道機関に対し傍聴席から写真及び映像の撮影を許可しております。

本日、令和二年五條市議会第四回臨時会が招集されましたところ、議員各位には何かと御多用のところ御参集を賜り厚くお礼申し上げます。本臨時会には、令和二年度五條市一般会計補正予算案が提出されております。議員各位にはどうか御精励をいただきますとともに、円滑なる議会運営に格段の御協力をお願い申し上げます。開会の御挨拶とさせていただきます。

この際、申し上げます。

会議記録及び市議会だより五條並びに広報五條に掲載のため、各会議の日程中、事務局に写真撮影をさせますので、御了承願います。この際、申し上げます。

六月定例会に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、速記者の席を議員席の前方の席に移動しておりますので、御了承願います。また、議員各位の質疑並びに理事者側の答弁の際は正確な会議録作成のため、マスクを外していただきますようお願い申し上げます。

○議長（吉田雅範）ただいまの出席議員数は定足数に達しておりますので、会議が成立いたします。

市長から議会招集の御挨拶があります。太田市長。

○市長（太田好紀）改めまして、皆さんおはようございます。

本日、ここに令和二年五條市議会第四回臨時会を招集いたしましたところ、議員各位の御出席を賜り厚くお礼申し上げます。

初めに、このたびの令和二年七月の豪雨により、熊本県を中心に甚大な被害が発生し、多くの尊い人命が失われました。

改めまして、亡くなられた方々の御冥福をお祈りし、被災された皆さんに心からお見舞いを申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興・復興を祈念するものであります。

さて、本臨時会においては、国の第二次補正予算による新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金などを活用し、子供への支援や新しい生活様式を推進する本市の独自施策等の実施に伴う補正予算を提出いたしております。

議員各位におかれましては、よろしく御審議の上、御議決を賜りますようお願い申し上げます。開会に当たっての御挨拶とさせていただきます。

○議長（吉田雅範）ただいまから本日の会議を開きます。

本日の日程につきましては、お手元に配布済みのおりであります。

配布漏れはございませんか。――。

これより日程に入ります。

○議長（吉田雅範）日程第一、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は会議規則第八十八条の規定により、議長から指名いたします。

十一番	藤	富	美	恵	子	議員
十二番	大	谷	龍	雄		議員
一番	伊	谷	賢	司		議員

以上、三名の方をお願いいたします。

○議長（吉田雅範）次に日程第二、会期決定の件を議題といたします。

お諮りいたします。本臨時会の会期につきましては、去る七月二十二日開催の議会運営委員会におきまして御協議を賜りました結果、先に御通知申し上げましたとおり本日一日間といたしたいと思います。御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（吉田雅範）御異議なしと認めます。よって会期は本日一日間と決しました。

なお、会期中の会議予定につきましては、各位に御通知申し上げましたとおりであります。

○議長（吉田雅範）次に日程第三、市長の提出議案の説明を求めます。太田市長。

〔市長 太田好紀登壇〕

○市長（太田好紀）それでは本臨時会に提出の議案について御説明申し上げます。

議第四十六号 令和二年度五條市一般会計補正予算（第四号）議定につきましては、歳入歳出予算の総額に、それぞれ四億二千六十九万八千円を追加し、総額で二百五十八億五千六百六十九万九千円とするものであり、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金等を活用した子供への支援や、新しい生活様式を推進する事業に要する経費を計上したものであり、これらの財源につきましては、国庫支出金並びに県支出金を見込み、補正予算を編成した次第であります。

以上が、このたび提出いたしました議案の概要であります。

○議長（吉田雅範）市長の提出議案の説明が終わりました。

○議長（吉田雅範）次に日程第四、議第四十六号を議題といたします。

事務局長に件名を朗読させます。

○事務局長（馬場雅樹）議第四十六号 令和二年度五條市一般会計補正予算（第四号）議定について。

○議長（吉田雅範）提案理由の説明を求めます。松本総務部長。

〔総務部長 松本成人登壇〕

○総務部長（松本成人）失礼いたします。

ただいま上程いただきました議第四十六号、令和二年度五條市一般会計補正予算（第四号）議定につきまして、提案理由を御説明申し上げます。

恐れ入りますが、別冊の令和二年度五條市一般会計補正予算（第四号）のページを御覧いただきたいと存じます。

このたびの補正でございますが、歳入歳出予算の補正でございます。その総額にそれぞれ四億二千六十九万八千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ二百五十八億五千六百六十九万九千円とするものでございまして、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金等の国庫支出金及び関連する県支出金を活用し、子供への支援や新しい生活様式の推進に係る事業を実施するため、所要の予算を補正するものでございます。

それでは初めに、国の「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」に関係する事業の概要につきまして、議案概要説明書の事業

概要、また配布させていただきましたA3の資料に記載しております取組分類別に御説明を申し上げます。

初めに、『子どもへの支援』に係る取組でございます。

まず、「新生児向け特別定額給付金事業」でございますが、令和二年四月二十八日から令和三年三月三十一日までに生まれた新生児に一律十万円を給付するもので、事業費の総額は一千八百四十万一千円でございます。

次に、「高校生以下の子どもに対する図書カードの支給」でございますが、自宅生活が増えていることなどから、本補正予算の議決日現在、五條市に住民票がある高校生以下の子供と、令和二年度末までに生まれる子供に、一人当たり五千円の図書カードを支給するもので、事業費総額は一千八百七十万八千円でございます。

次に、「幼児の体験機会の創出支援」でございますが、外出自粛により、遠足などの体験機会が減少した幼児に対して、幼稚園、保育所が実施する園内など身近な場所での体験機会を創出する取組に対して支援を行うもので、事業費総額は二百五十万円でございます。

次に、「幼児、障害児に対する新しい生活様式定着に向けた支援」でございますが、市内の幼稚園、保育所、障害児通所支援事業所等に対して、楽しみながら手洗い習慣の定着を図っていくことを目的に、手洗い練習用スタンプを配布するもので、事業費は二十三万一千円でございます。

次に、「小、中学校における新しい生活様式の実践のための環境整備」でございますが、小・中学校内の感染防止対策に資する空気清浄機やサーキュレーター等の備品を整備するもので、事業費総額は一千二百五十万円でございます。

次に、「学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援」でございますが、三密を回避し、児童一人ひとりに合った、よりきめ細かな対応を実現するため、学習指導員等の追加配置を行うもので、事業費総額は二百八十六万二千元でございます。

次に、「賀名生分校生徒の「密」を避ける通学の確保」でございますが、路線バスを利用して通学する賀名生分校生徒の登下校時の「密」を避けるため、既存の路線バスに続行車両を追加して運行を行うもので、事業費は四百八十万円でございます。

続きまして、『新しい生活様式の推進』に係る取組でございます。

初めに、「五條市お店応援クーポン券の発行」でございますが、市内の事業所で使用できる額面五千円で、うち一千円分は飲食店限定であります。クーポン券を、本補正予算の議決日現在、五條市に住民票がある全市民を対象に発行するもので、事業費総額は一億六千七百八十七万六千円でございます。

次に、「新しい生活様式を踏まえた市の魅力PRコンテンツの制作」でございますが、五條市の魅力をPRする動画等を制作し、市ホームページ等を通じて発信するもので、事業費は百十九万二千円でございます。

次に、「ごみ収集時及び集会所等における感染防止対策」でございますが、感染予防の周知に資する看板及びポスターを作成し、ごみ集積所に看板を、集会所等にポスターを掲示していただくもので、事業費総額は六百七十二万八千円でございます。

続きまして、『感染対策備品等の充実』に係る取組でございます。

初めに、「避難所の感染症対策のための装備の整備」でございますが、避難所において、断水時でも避難者が手洗いやシャワーの使用ができるよう、災害時用水循環シャワーキット一台を購入するもので、事業費は六百三十四万五千円でございます。

次に、「再度の感染拡大に備えた備品等の備蓄」でございますが、災害時の感染症予防対策、今後の感染拡大時への備え、また平時の感染予防対策に必要な物品を購入するもので、事業費総額は一千六百五十万四千円でございます。

次に、「図書消毒機の整備」でございますが、感染防止のため、市立図書館で保有する書籍を消毒する専用の消毒機一台を購入するもので、事業費は百三十七万八千円でございます。

続きまして、『事業者支援』に係る取組でございますが、「中小企業等事業者支援金支給事業」の実施でございます。新型コロナウイルス感染症の影響で売上高等が減少し、それに伴い事業継続のための同感染症関係の融資を受けた市内の中小企業者及び個人事業主に対して一律二十万円を給付するもので、事業費総額は七千三万三千元でございます。

続きまして、『地域公共交通の担い手支援・住民の移動支援』に係る取組でございます。

初めに、「高齢者等買い物弱者に対する支援」でございますが、市内タクシー事業者による飲食店テイクアウト品の宅配事業や買物代行支援事業を利用した際の利用料金について、自己負担分を除いた額をタクシー事業者に助成するもので、事業費は九百九十六万円でございます。

次に、「コミュニティバス、デマンド型乗合タクシー等利用者への運賃の無償化」でございますが、八月から今年度末まで、市が運行するコミュニティバス等の運賃を無償化するもので、事業費総額は三百八十六万五千円でございます。

次に、「路線バス利用者への運賃補助」でございますが、路線バス利用者への負担軽減措置として、申請をした市民を対象に、一人一回に限り、奈良交通ICカードのチャージ券五千円分の交付を行うもので、事業費は一千三十三万五千円でございます。

続きまして、『離職者等支援』に係る取組でございますが、「内定の取消しや雇止めになった方等への支援」を行うものでございまして、

新型コロナウイルス感染症の影響による企業の事業縮小等により内定の取消しや雇止めとなった方などを一時的に市で雇用するもので、事業費は四百六十九万円でございます。

「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金に係る事業の概要」につきまして、以上でございます。

続きまして、『その他の事業』について、概要を御説明申し上げます。

初めに、「ひとり親世帯臨時特別給付金事業」でございますが、新型コロナウイルス感染症の影響が広がる中、子育てと仕事を一人で担う低所得または家計が急変したひとり親世帯に対して臨時特別給付金を支給し支援するもので、事業費総額は四千七百十七万円でございます。

次に、「児童福祉施設における感染症拡大防止対策に係る支援」でございますが、保育所等の児童福祉施設に対して、マスクや衛生用品等の購入に係る支援を行うもので、事業費総額は一千八百五十万円でございます。

次に、「幼児教育の質の向上のための緊急環境整備に係る支援」でございますが、幼稚園に対して、感染症予防のためのマスクや衛生用品等の購入に係る支援を行うもので、事業費は百万円でございます。

事業概要については、以上でございます。

なお、以上の全事業に係る事業費の総額は四億二千五百五十七万八千円となるものでございまして、冒頭に申し上げました歳出補正予算の総額四億二千六十九万八千円との差額四百八十八万円は、歳入予算の減額補正に当たる分でございます。

それでは次に、歳出予算の補正を御説明申し上げます。

恐れ入りますが、改めまして、令和二年度五條市一般会計補正予算（第四号）の七ページを御覧願います。

初めに、二款総務費、一項総務管理費、一目一般管理費でございますが、この科目の財源につきまして、その財源内訳を更正するもので、新型コロナウイルス感染症の影響により内定取消しや雇止めになった方などを一時的に市で雇用する支援事業に係る経費四百六十九万円に国庫支出金を充当し、同額の一般財源を減ずるものでございます。

次に、三目広報費の補正百十九万二千円でございますが、「新しい生活様式を踏まえた市の魅力PRコンテンツの制作」の取組としまして、市の観光地や特産品などの魅力をPRする動画を制作し、テレビ放送・市のホームページ等を通じて発信するため、映像製作業務委託料など、所要の経費を計上するものでございます。

なお、この補正の財源は、全額国庫支出金を見込んでおります。

次に、七目企画費の補正三千二百七十七万円でございますが、十二節委託料において、「五條市お店応援クーポン券」の発行に際しクーポン券を使用できる事業所を広くPRするための経費として、五條市商業活性化PR事業委託料四百万円を、「コミュニティバス、デマンド型乗合タクシー等利用者への運賃の無償化」実施による委託料の追加分として、地域公共交通運行業務委託料三百六十七万五千円の追加を、十八節負担金補助及び交付金に「賀名生分校生徒の「密」を避ける通学の確保」の取組として、既存路線バスに対し続行便車両を追加するための路線バス運行維持対策費負担金四百八十万円を、また、「高齢者等買い物弱者に対する支援」として、市内タクシー業者による飲食店テイクアウト品の宅配事業や買い物支援事業を利用した際に、利用料金から利用者負担一回五百円を差し引いた額を助成する、買物代行支援助成金九百九十六万円を、「路線バス利用者への運賃補助」として、申請した利用者に奈良交通ICカード「CICA」のチャージ券五千円分を交付する経費として、十節需用費の消耗品費に十万円、十八節負担金補助及び交付金に路線バス利用促進補助金一千二十三万五千円を計上するものでございます。

なお、これら経費の財源は、二千二百六十七万三千円を国庫支出金として、一千九万七千円を県支出金として見込んでおります。

次に、十四目西吉野支所費の財源の更正八万八千円、次のページ、八ページの十五目大塔支所費の財源の更正十万二千円でございますが、前述の「コミュニティバス等への利用者への運賃無償化」に伴い、コミュニティバス運行に係る経費の財源につきまして、コミュニティバス使用料を減額し、同額の国庫支出金を充てるものでございます。

次に、二十目特別定額給付金事業費の補正一千八百四十万一千円でございますが、新生児向け特別定額給付金事業として、令和二年四月二十八日から令和三年三月三十一日までに生まれた新生児に一律十万円を給付するため、十八節負担金補助及び交付金の特別定額給付金一千五百万円の追加など、所要の経費を計上いたしております。

なお、この財源は、全額国庫支出金を見込んでおります。

次に、三款民生費、一項社会福祉費、二目障害福祉費、十節需用費の二十三万一千円の補正でございますが、「児童に対する新しい生活様式定着に向けた支援」として、市内の幼稚園、保育所、認定こども園、障害児通所支援事業所へ配布する手洗い練習用スタンプの購入に係る経費を計上いたしております。

この財源は、全額国庫支出金を見込んでおります。

次に、二項児童福祉費、一目児童福祉総務費の九百七十六万八千円でございますが、本補正予算の議決日現在、五條市に住民票がある高校

生及び未就学児の子供と、令和二年度末までに生まれる子供に対し図書カードを支給するため、所要の経費を計上するものでございます。

なお、この財源は、五百三十六万八千円を国庫支出金として、四百四十万円を県支出金として見込んでおります。

次に、四目児童館費の五十万円、次の六目児童福祉施設費の全体の九百万円から十二節委託料二百万円を除く七百万円、次の八目放課後児童健全育成事業費の一千万円、そして、九目地域子育て支援拠点事業費の百万円の合計一千八百五十万円の補正でございますが、「児童福祉施設における感染拡大防止対策に係る支援」として、感染症対策に必要な消耗品・備品の購入経費及びそれらの購入に係る私立保育園への補助金を計上いたしております。

なお、これらの財源は、九百五十万円を国庫支出金として、九百万円を県支出金として見込んでおります。

そして、六目児童福祉施設費、十二節委託料のイベント開催委託料の二百万円でございますが、公立保育所及び私立保育園が実施する「体験機会の創出」に係る取組の支援に要する経費を計上いたしております。

なお、この財源として、国庫支出金、県支出金それぞれ百万円を見込んでおります。

次に、十一目ひとり親世帯臨時特別給付金事業費の補正でございますが、十八節負担金補助及び交付金のひとり親世帯臨時特別給付金四千三百四十七万円につきましては、まず「基本給付」としまして、本年六月分の児童扶養手当の受給者、公的年金等の受給者で本年六月分の児童扶養手当支給が全額停止されている方等、そして新型コロナウイルス感染症の影響により家計が急変するなど収入が児童扶養手当の受給者と同水準となっている方に対して一世帯五万円、第二子以降一人につき三万円を支給し、更に「追加給付」として、前述の六月分児童扶養手当受給者及び公的年金等受給の対象者で、同感染症の影響により家計が急変し収入が減少していると申出のある方に一世帯五万円を支給するものでございます。

そのほか、電算システム改修業務委託料など事務経費として三百七十万円を計上しており、総額で四千七百十七万円を補正するものでございます。

なお、この財源は、全額国庫支出金を見込んでおります。

次に、十ページにまいります。

四款衛生費、一項保健衛生費、二目予防費の補正五百十六万五千円でございますが、「再度の感染拡大に備えた備品等の備蓄」の取組として、十節需用費の消耗品費及び十七節備品購入費に、感染症予防を図るためのマスク、ガウン、フェイスシールド等の消耗品購入、そして空

気清浄機、サーマルカメラ、人体表面温度測定器等の備品購入に要する経費として四百九十四万八千円を計上いたしております。

また、十節需用費の印刷製本費には、感染症予防のための周知ポスター印刷代、二十一万七千円を計上いたしております。

なお、これらの財源は、全額国庫支出金を見込んでおります。

次に、二項清掃費、二目塵芥処理費、十二節委託料の看板製作委託料六百五十八万四千円でございますが、ごみ集積所に感染症予防及びごみ分別についての周知看板を設置していただくため、その看板製作委託に係る所要の額を計上いたしております。

なお、この財源は、全額国庫支出金を見込んでおります。

次に、六款商工費、一項商工費、二目商工振興費の補正二億三千三百九十九万九千円でございますが、市内の事業所で使用可能な「五條市お店応援クーポン券の発行」に係る経費、及び「中小企業等事業者支援金支給事業」に要する経費を予算化するものでございまして、十八節負担金補助及び交付金に市民一人五千円分のクーポン券負担金として一億四千八百九十二万五千円を、そして、新型コロナウイルス感染症の影響を受け売上高等が一定以上減少している中小企業者等に対して適用される、セーフティネット保証四号・五号及び危機関連保証、経営環境変化・災害対策資金、日本政策金融公庫の新型コロナウイルス感染症特別貸付のいずれかの制度により融資を受けた中小企業者及び個人事業主に対し一律二十万円の支援金として七千万円を計上し、十節需用費、十一節役員費、十二節委託料には、クーポン券発行事業等の事務経費として合計一千四百九十八万四千円を計上いたしております。

なお、これら経費の財源は、一億五千九百四十四万七千円を国庫支出金として、七千四百四十六万二千円を県支出金として見込んでおります。

次に、十一ページ中ほど、八款消防費、一項消防費、五目災害対策費一千七百八十二万八千円の補正でございますが、災害時の感染症予防対策に係る避難所用の簡易テント及び段ボールベット等の購入費用として、十節消耗品費に四百九十四万四千円を、避難所用の災害時用水循環シャワーキットやポータブル蓄電池等の購入費として、十七節備品購入費に一千二百八十八万四千円を計上するものでございます。

なお、これらの財源は、全額国庫支出金を見込んでおります。

次に、九款教育費、一項教育総務費、三目教育振興費の八百九十四万円の補正でございますが、本補正予算の議決日現在、五條市に住民票がある小・中学生に対して、図書カードを支給するために所要の経費を計上するものでございます。

なお、この財源は、四百四十九万円を国庫支出金として、四百四十五万円を県支出金として見込んでおります。

次に、十二ページを御覧ください。

二項幼稚園費、一目幼稚園費の百五十万円の補正でございますが、幼稚園が実施する「体験機会の創出」に係る取組を支援するため、十二節委託料にイベント開催委託料五十万円を、また「幼児教育の質の向上のための緊急環境整備に係る支援」としまして、感染症対策に係る物品購入経費として、十節需用費及び十七節備品購入費に合計で百万円を補正するものでございます。

なお、これらの財源は、二十五万円を国庫支出金として、百二十五万円を県支出金として見込んでおります。

次に、三項小学校費、二目教育振興費の九百七十三万六千円の補正でございますが、学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援としまして、三密を回避し、児童一人ひとりに合った、よりきめ細かな対応の実現に資する学習指導員の追加配置に要する経費として、一節報酬及び八節旅費に、合わせて二百二十三万六千円を、また、「新しい生活様式の実践のための環境整備」として、空気清浄機やサーキュレーター等備品の整備を行うため、十七節備品購入費に七百五十万円を計上するものでございます。

なお、これらの財源は八百七十四万三千円を国庫支出金として、九十九万三千円を県支出金として見込んでおります。

次に、四項中学校費、二目教育振興費、十七節備品購入費の三百万円と、五項、次のページでございます高等学校費、二目教育振興費、十七節備品購入費の二百万円は、小学校と同様、「新しい生活様式の実践のための環境整備」のための備品整備に係る経費を補正するものでございます。

なお、これらの財源は、全額国庫支出金を見込んでおります。

次に、六項社会教育費、五目図書館費、十七節備品購入費の百三十七万八千円の補正でございますが、市立図書館で使用する図書専用消毒機の購入に係る所要の経費を計上いたしております。

なお、財源は全額国庫支出金を見込んでおります。

次に、十一目青少年指導対策費の補正でございますが、教育活動再開に際して、スクールサポーターを追加配置するための費用、六十二万六千円を補正するものでございます。

なお、この財源は全額国庫支出金を見込んでおります。

歳出は、以上でございます。

続きまして、歳入予算の補正について御説明申し上げます。

恐れ入りますが、四ページの歳入歳出補正予算事項別明細書の歳入の項を御覧いただきたいと存じます。歳入予算につきまして、十四款使用料及び手数料においては、国庫支出金への財源の更正により、コミュニティバス使用料十九万円を減額いたしております。

十五款国庫支出金においては、六つの交付金または補助金を合計で三億一千九百九十二万六千円追加いたしております。このうち「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」の額は、二億五千六百五十一万円でございます。国の第二次補正における五條市への交付限度額四億九千四百四十一万三千円から今回の充当額を差し引いた残りの分、二億三千七百九十万三千円につきましては、今後、さらに本市の現状等を見極め、検討・精査を行った上で、改めて御提案申し上げます。

次に、十六款県支出金においては、「県内消費喚起支援事業補助金」など五つの補助金または交付金一億五百六十五万二千円を追加しております。そして、十九款繰入金において、国庫支出金への財源の更正により、財政調整基金繰入金四百六十九万円の減額をいたしまして、歳出との均衡を図った次第でございます。

以上で、説明を終わらせていただきます。よろしく御審議の上、御議決を賜りますようお願い申し上げます。

○議長（吉田雅範）提案理由の説明が終わりました。

これより質疑に入ります。（「十二番」の声あり）十二番大谷龍雄議員。

○十二番（大谷龍雄）市民の皆さん方の実態、意見、要望を聞いていただいた予算措置という感じはしますけれども、御存じのように日本全国でも奈良県でも、新型コロナウイルス感染者が急速に増えてきております。五條市におきましても、この前の新聞報道では、新たに一名感染者が出ている状況ですので、幾つか質問をさせていただきたいというように思います。

御存じのように、五條市の公共施設で市民をお預かりしている施設は、保育所、幼稚園、その他関連する児童館等いろいろあります。また小学校、中学校、高等学校、そして老人福祉施設等々、こうあるわけですけれども、この市民の皆さん方をお預かりしている今申し上げた五條市全体の施設の中での三密を防がなければならぬわけでありますけれども、大体今日あげられたこの予算で、全体として全ての施設で三密を防ぐ体制がとられているのかどうか、その点はいかがですか。

○議長（吉田雅範）南理事。

○理事（南 則行）十二番大谷議員の御質問にお答えさせていただきます。

議員お述べのように、現在全国で新型コロナウイルス感染症の陽性者、感染者は増加している状況でございます。そのような中で、三密対策等を徹底していくことは非常に重要なことであると考えてございます。

現時点におきましては、先ほど説明させていただきましたように、国・県の制度を活用しながら小学校、学校施設や子供の施設等に対する三密対策等の経費を支援させていただいておるところでございます。

現時点におきましては、これで各施設におきましてそれぞれの特性に応じて適切に御対応いただきたいところと考えてございます。ただ今後の感染状況等を踏まえましては、引き続き必要な対策は取ってまいりたいというように考えてございます。

以上、答弁とさせていただきます。（「十二番」の声あり）

○議長（吉田雅範） 十二番大谷龍雄議員。

○十二番（大谷龍雄） 御存じのように、現在日本全国で急速に感染者が増えているその原因にはいろいろ専門家、医療関係の先生方の指摘では、いわゆる無症状の感染者が集まって、そこで周囲の人に感染を広げているという感染震源地があるのではないかと言われているわけです。だからここで正確に見なければならぬのは、例えば私今、熱も高いことはないし、元気ですし、しんどいこともありませんけれども、こういう症状の私でもひよっとしたら感染しているか分からないわけです。これは検査しなければ分からないわけです。だから大事なことは感染の検査を希望される方、五條市民の方はやはり負担なしに早急に検査を受けていただけるような体制というものがこれから求められるのではないかというふうに考えます。

この間の新聞報道では、大和高田市でドライブスルー方式で、大和高田市の責任で新型コロナウイルス対策、インフルエンザの検査を行うということとで二千万円の予算を付けられたと、あくまでも市内医師会の医療機関を受診して、医者が必要と認めた市民という条件は付いておりますけれども、そういう観点で、五條市はまだ最近一名増えただけですけれども、必要ではないかなと。

そして無症状の人でも感染者がおつて、その無症状の感染者が他人に感染させるというこの力を持っているという、この面を正確につかんで、これからの市民の皆さん方への啓発、啓蒙活動にも、無症状の人でも感染者がいるんですよと、その人が周辺に広げますよという、これを強調した啓発、啓蒙が重要になってくるのではないかなということを強調いたしまして、終わります。（「九番」の声あり）

○議長（吉田雅範） 九番山口耕司議員。

○九番（山口耕司） 国の第二次補正予算を受けての今定例会の予算でございますけれども、いわゆる五條市の経済の下支えとなる項目が大変多

くございました、その中の一つの例ですけれども、いわゆる市が認定するセーフティネット四号・五号に関連した二十万円を給付するという、事業者に対しての給付でございます。こうしたお金を借りられた人はいいのですけれども、いわゆる持続化給付金を申請して百万円をいたいたと、しかしながらセーフティネット等のお金を借りる、借金をするということはもう既に借金をしているのです、その打ち返しにはセーフティネット等を使えないという話でございますので、使えない業者がたくさんいらっしゃると思うのです。この対象者は先般の補正予算説明会で二百五十者ほど予定しているというお話を聞かせていただいておりますけれども、本当に困っている方々にこの二十万円が、手が届くのかなと、お金を借りられた人はよろしいですよ。それ以外に、現実に持続化給付金をいただいた方にもこういった手当はできないのかどうか、お尋ねしたいと思います。

○議長（吉田雅範）井上産業環境部長。

○産業環境部長（井上 昭）九番山口議員の御質問にお答え申し上げます。

議員お述べの持続化給付金は新型コロナウイルス感染症の影響により一月の売上が同年同月比で五〇パーセント以上減少している事業者に昨年一年間の売上から減少分を上限として法人は最大二百万円、個人事業者は最大百万円を一回限り国から直接給付するものでございます。

今回、市が実施する中小企業等事業者支援については、資金繰りが苦しくなり融資を受けた中小企業者及び個人事業主を対象とさせていただいているところでございます。よって融資と持続化給付金を併用されている事業者は対象となりますが、議員お述べの持続化給付金のみを受給した事業者は対象なりません。その理由をいろいろ庁内の方で協議いたしました。資金繰りに困っている事業者かどうかという判断をするのは融資を受けた中小企業者及び個人事業主というふうに判断されているところでございます。

以上、答弁とさせていただきます。（「九番」の声あり）

○議長（吉田雅範）九番山口耕司議員。

○九番（山口耕司）それなら仕方がないと思うのですけれども、現実には、それ以上お金を借るとまた返していかなければならないという、既に借りておられるお金も返していかなければならない、その借換えが今回このセーフティネットではできないわけですよ。そうした中で、大変苦しんでいらっしゃる方もおられるということをしつかりと把握していただきたいと思っております。よろしくお願い申し上げます。

次に、備品等を購入するに当たっては、予算はしっかりと組めると思うのですけれども、人に対して、申請において経費がかかってくる、多少が出てくると思うのですけれども、いわゆるその過不足が出てくることに対しての対応は今後どうされるのですか。

○議長（吉田雅範）南理事。

○理事（南 則行）九番山口議員の御質問にお答えさせていただきます。

今回の補正予算でたくさんのお仕事を提案させていただいております。それぞれの事業によりまして、中身は異なりますけれども、その事務費と言いますか、そういうところで過不足が出たときには、今回、一般財源を使用せずに提案させていただいております。交付金を充當させていただいている事業につきましてはその中でそれぞれ対応してまいりたい。余ったところがあれば不足しているところに回すというような対応は出てくるかもしれませんが、どうしてもという場合はそのように対応させていただきたいというふうに考えてございます。

以上、答弁とさせていただきます。（「九番」の声あり）

○議長（吉田雅範）九番山口耕司議員。

○九番（山口耕司）国からの補助金、県の補助金も合わせての中で、全ての中で調整をしていくということでしょうか。

最後に、この多くの事業がございまして市民に係ることがほとんどでございます。これを知らなかったということが市民にないような周知の仕方をしていかなければならないと考えておりますが、その辺どうお考えになりますか。

○議長（吉田雅範）南理事。

○理事（南 則行）九番山口議員の御質問にお答えさせていただきます。

議員お述べのとおり、この制度をしっかりと市民の方にお知らせしていくことは非常に重要なことだと考えてございます。

市のホームページでの発表ですとか、市の広報誌での周知というのは考えてございますが、現時点におきまして、速やかにという点がございますので、臨時的に広報誌を発行するとか、そういったことも含めまして、速やかに全ての市民の皆様にご伝えることができる方法というのを検討し早急に実施していきたいというふうに考えてございます。

以上、答弁とさせていただきます。

○議長（吉田雅範）質疑を終わります。

お諮りいたします。本案につきましては討論並びに委員会付託を省略したいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（吉田雅範）御異議なしと認めます。よって本案は討論並びに委員会付託を省略することに決しました。

これより本案を採決いたします。

お諮りいたします。本案は原案のとおり可決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（吉田雅範）御異議なしと認めます。よって本案は原案のとおり可決されました。

○議長（吉田雅範）この際、申し上げます。

牧野雅一議員から議会運営委員会委員を辞任したいとの申出があり、委員会条例第十二条の規定により許可しておりますので、御了承願います。

○議長（吉田雅範）次に、日程第五、選第三号を議題といたします。

事務局長に件名を朗読させます。

○事務局長（馬場雅樹）選第三号 議会運営委員会委員の選任について。

五條市議会条例第六条第一項の規定により、委員の選任を行う。

令和二年七月三十日提出

五 條 市 議 会

○議長（吉田雅範）本件につきましては、あらかじめ議員各位の御意見を聞き、御協議を賜っておりますので、委員会条例第六条第一項の規定により、お手元に配布しております名簿のとおり、指名いたします。

念のため、事務局長に氏名を朗読させます。

○事務局長（馬場雅樹）議会運営委員会委員、吉田 正。

○議長（吉田雅範）以上をもちまして、本日の日程は全部終了いたしました。

閉会に当たり、一言御挨拶を申し上げます。

議員各位には終始御熱心に御精励を賜り、厚くお礼申し上げます。

市長を始め理事者側各位には市政発展のため、事務事業の遂行にますます御精励賜りますようお願いを申し上げます、閉会の挨拶といたします。
ありがとうございました。

市長から御挨拶があります。太田市長。

〔市長 太田好紀登壇〕

○市長（太田好紀）令和二年五條市議会第四回臨時会の閉会に当たりまして、一言御挨拶を申し上げます。

本日、提出をいたしました議第四十六号 令和二年度五條市一般会計補正予算（第四号）議定につきましては、慎重審議を賜り、原案のとおり御議決をいただき、心から厚くお礼申し上げます。

なお、依然として新型コロナウイルス感染症の終息が見通せない厳しい状況が続いておりますが、本日御議決をいただきました補正予算を活用し、市民の皆さんの健康と暮らしを守るとともに、引き続き感染防止と社会経済活動の両立を図る施策を効果的に展開してまいりたいと考えておりますので、一層の御理解、御協力をお願いするものであります。

終わりに、議員各位には、時節柄、健康に御留意の上、議員活動に御精励いただきますようお願い申し上げ、閉会に当たつての御挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

○議長（吉田雅範）これもちまして、令和二年五條市議会第四回臨時会を閉会いたします。

午前十時五十六分閉会

本会議録の正当なることを証明するためにここに署名する。

署名議員	署名議員	署名議員	議会議長
伊谷賢司	大谷龍雄	藤富美恵子	吉田雅範